

094 イエスの変貌(姿が変わる)資料1:変貌の山でのイエスとモーセ、そしてエリヤ

変貌の山(イエスの姿が変わる)でモーセとエリヤが現れ、イエスと語り合いました(マタイ 17:3、ルカ 9:30)。

変貌の山(イエスの姿が変わる)の出来事は、マタイ 17:1~13、マルコ 9:2~13、ルカ 9:28~36 に出て来ます。

→マタイによる福音書 17:2

イエスの姿が彼ら(→ペトロ、ヤコブ、ヨハネ)の目の前で変わり、顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなった。

→マルコによる福音書 9:2~3

六日の後、イエスは、ただペトロ、ヤコブ、ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。イエスの姿が彼らの目の前で変わり、服は真っ白に輝き、この世のどんなさらし職人の腕も及ばぬほど白くなった。

→ルカによる福音書 9:28~29

この話をしてから八日ほどたったとき、イエスは、ペトロ、ヨハネ、およびヤコブを連れて、祈るために山に登られた。祈っておられるうちに、イエスの顔の様子が変わり、服は真っ白に輝いた。

| タイトル(書名) | 章:節 聖句 [検索対象総数:6 / 聖句等の総数 33250] | 聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) |
|-------------|--|-----------------------------------|
| S マタイによる福音書 | 17:3 見ると、モーセとエリヤが現れ、イエスと語り合っていた。 | |
| S マタイによる福音書 | 17:4 ペトロが口をはさんでイエスに言った。「主よ、わたしたちがここにいるのは、素晴らしいことです。お望みでしたら、わたしがここに仮小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのためです。」 | |
| S マルコによる福音書 | 9:4 エリヤがモーセと共に現れて、イエスと語り合っていた。 | |
| S マルコによる福音書 | 9:5 ペトロが口をはさんでイエスに言った。「先生、わたしたちがここにいるのは、素晴らしいことです。仮小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのためです。」 | |
| S ルカによる福音書 | 9:30 見ると、二人の人がイエスと語り合っていた。モーセとエリヤである。 | |
| S ルカによる福音書 | 9:33 その二人がイエスから離れようとしたとき、ペトロがイエスに言った。「先生、わたしたちがここにいるのは、素晴らしいことです。仮小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのためです。」ペトロは、自分でも何を言っているのか、分からなかったのである。 | |

モーセ (817 聖句に 888 回登場、旧約:729 聖句に 797 回登場) とエリヤ (122 聖句に 142 回登場、旧約:93 聖句に 113 回登場) は、主に旧約聖書に登場します。

このように、モーセとエリヤは、旧約聖書を代表する人物(モーセは律法の代表、エリヤは預言者の代表)です。また、イエスの変貌は、イエスは人でありながら神性を宿していることを示しています。

その栄光の姿に変貌したイエスの傍に、モーセとエリヤが立ちました(マタイ 17:3、マルコ 9:4、ルカ 9:30)。

エリヤは、携挙される聖徒たちの型です。携挙とは、教会、つまりイエス・キリストを信じる人たちが生きたままで天に上げられることです。その体は、死を経験しないで栄光の体に変えられました。

エリヤは、死を経験しないで、天に上げられました(列王記下 2:11)。

→列王記下 2:11

彼ら(→エリヤとエリシャ)が話しながら歩き続けていると、見よ、火の戦車が火の馬に引かれて現れ、二人の間を分けた。エリヤは嵐の中を天に上って行った。

||

ラーカハ (ヘブライ語): 取られた、受け入れられた
受容、歓迎、選択、捕獲、傾聴のイメージ

||

エノクは神と共に歩み、神が取られたのでいなくなった(創世記 5:24)。

モーセは栄光の体に復活する聖徒たちの型です。

モーセの体は、神ご自身が葬られました。その墓を知る者は誰もいません（申 34 : 5~7）。

→申命記 34 : 5~7

主の僕モーセは、主の命令によってモアブの地で死んだ。主は、モーセをベト・ペオルの近くのモアブの地にある谷に葬られたが、今日に至るまで、だれも彼が葬られた場所を知らない。モーセは死んだとき百二十歳であったが、目はかすまず、活力もうせてはいなかった。

この聖句から、モーセの体は朽ちずに、「霊の体」（→ I コリ 15 : 44、46 天上で生きるのに適した体、霊的な存在）で現れた、あるいは、「栄光ある体」（→ フィリピ 3 : 21）で現れたとも考えられます。

しかし、聖書には、聖徒たちは、イエスの再臨後、千年王国への移行期に栄光の体に甦る（I テサ 4 : 16 ~17、黙示録 20 : 5）とありますので、変貌山で現れたモーセは、まだ「栄光の体」を持っていない「霊の体」で現れたと思われます。

【参考】 霊の体、栄光ある体

| | | 聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : 霊の体・栄光ある体] | |
|---|--------------|---|---|
| | タイトル(書名) | 章:節 聖句 | [検索対象総数 : 3 / 聖句等の総数 33250 <霊の体>4個 <栄光ある体>1個] |
| S | コリント信徒への手紙 I | 15:44 | つまり、自然の命の体が蒔かれて、霊の体が復活するのです。自然の命の体があるのですから、霊の体もあるわけです。 |
| S | コリント信徒への手紙 I | 15:46 | 最初に霊の体があったわけではありません。自然の命の体があり、次いで霊の体があるのです。 |
| S | フィリピの信徒への手紙 | 3:21 | キリストは、万物を支配下に置くことさえできる力によって、わたしたちの卑しい体を、御自分の栄光ある体と同じ形に変えてくださるのです。 |

パウロは、死から命へとよみがえる人々は完全に新しい体を持つと教える。この教えは、パウロの時代に一般的だった信仰、すなわち死は朽ちてしまう体から魂を解き放ち、魂は永遠に生きるというものとは異なる。